

New Wave Vol.55

ジェンダー平等実現のための広報紙

【特集】 P2~5

ホームタウンチーム横浜F・マリノスの選手と考える
家族と過ごし、喜びを分かちあう大切さ

P6 おすすめ図書紹介
デュオよこすかをご利用ください



特集

今回は、練習を終えたばかりの 渡辺選手にリモートでインタビューにお答えいただきました



横浜F・マリノスの 選手と考える 家族と過ごし、 喜びを分かちあう大切さ

横浜 F・マリノス

わたなべ こうた
渡辺 皓太 選手



●渡辺 皓太(わたなべ こうた) 選手

神奈川県川崎市出身の22歳。小学生のときからサッカーを始め、2017年に東京ヴェルディとプロ契約し、その後、2019年8月に横浜F・マリノスに加入。
エネルギーに躍動するMFで、チームでは終盤のクローザーとして貢献。元々はボランチだが、トップ下としての資質も魅力だ。2019年に結婚、2020年4月には第一子となる男の子が誕生し、現在は妻と長男の3人家族。

——昨年、長男が誕生した渡辺選手。
日頃から行っている家事・育児のこと、
ご家族への思いについて伺いました。

妻と1歳半(取材当時)の長男の3人家族です。
家族で一緒に、県内で暮らしています。

今はシーズン中なので、遠征などで不在にすることもありますが、普段の練習の日は、午前中に練習して、14時頃帰宅して、それ以降はフリーとなるので、比較的家族で過ごす時間は多く取れているかなと思います。

それまで家事はほとんどやっていなかったのですが、結婚と長男の誕生を機に、積極的に家事をするようになりました。

家事は妻に任せっきりにするのではなく、
気が付いた方がやるようにしています。

——家事・育児で普段行っていることを
教えてください。

お風呂掃除と、息子をお風呂に入れるのは必ず自分がやっています。これは息子が生まれた当初から何となく決まっていました。それ以外の家事は夫婦で明確に役割分担はしていませんが、気が付いたらやることを心がけています。

息子が生まれたての頃は、ちょうど緊急事態宣言中でステイホーム期間だったので、家で過ごす時間が多かったのですが、そのときに、家事は本当に大変だということがよく分かったので、妻に任せるのではなく、自分も気付いたときに動かなければと思いました。

短時間であっても、一人で子どもを
みることの大変さがよく分かりました。

——家事・育児に積極的に取り組もうと思った
きっかけは？

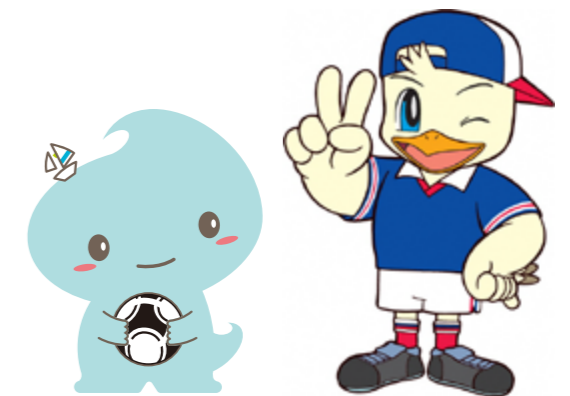
練習の日の午前中や、アウェーの遠征で一日中家を空けていることも多く、そのときは妻が一人で家事をしつつ、息子の面倒をみてくれています。

それまであまり行っていなかった家事や育児に、積極的に取り組もうと思ったのは、息子が生まれたことで、親としての責任感や自覚が芽生えたからというのはもちろん大きかったです。

それ以外にも、息子が生まれたあとに、練習から帰ってきた午後、妻が美容院に行っている間だけ一人で息子の面倒をみたことがありましたが、その短

時間だけでも本当に疲れたし、大変さを身に染みて感じました。

これを妻は、自分が家にいない間、毎日一人でやっているということは、とても負担が大きいことに気が付きました。この経験がきっかけで、「育児はどちらか一人ではなく夫婦二人で力を合わせてやるものなのだ」、という感覚に自然となりました。



©Y.F.MARINOS/SCBF



渡辺ご夫妻のYouTubeより



渡辺選手のご家族



©1992 Y.MARINOS



2022年
久里浜に

**横浜
F・マリノスが
やってくる!!**



**2022年
久里浜に横浜F・マリノスの
練習場が整備されます**

横浜F・マリノス練習場イメージ図 ©1992 Y.MARINOS

**妻と一緒に子どもの成長を日々感じる
ことができます。**

——家事・育児に積極的に取り組むことで、
良かったことや嬉しかったことは
ありますか？

サッカー選手は、他の職業の人より家にいる時間が比較的多いので、家族で過ごす時間は多くとれてると思います。そして、家事にも育児にも積極的に関わることで、子どもの成長を妻と一緒に感じることができるという点も、とても良かったなと感じています。

子どもが何か新しいことができるようになったときなど、その現場に立ち会って夫婦二人で喜び合え

る時間も大事にしています。

子どもの成長の過程を共有する時間をなかなか取れない夫婦もたくさんあると思います。その点では、「この時期にこんなことがあったね」「新しくこんなことができるようになったよ」ということを、二人で共有できるのはとても嬉しいことですね。

息子の成長記録も兼ねて、今年の2月から夫婦で始めたYouTubeも、ファンの方たちにも見ていただき、コメントもたくさんいただいています。息子の成長をファンの方とも一緒に感じるというのも、なかなかできることではないので、貴重な機会だと思っています。今後もいろいろ発信していけたらいいなと考えています。

**サッカーと家事・育児の両立は、
大変なときもあるけど、
いいリフレッシュにもなっています。**

シーズン中は試合や練習が続き、育児は体力的にも大変だなと感じるときもありますが、違った良さがあると思っています。家に帰って家族との時間を過ごしていると、サッカーのことを忘れてリラックスすることができます。

ゆっくりしたいなと思う時もたまにありますが、私の帰宅を待ち構えている元気な息子とサッカーボールを使って遊んだり、一緒に過ごすことで、気分もリフレッシュさせてもらっています。

私にとって家族の存在は、サッカーに取り組む

上でもとても大きな原動力になっています。結婚前と比べて、家庭を持つことで責任感が生まれ、家族のためにがんばろうという気持ちは確実に強くなりました。自分のためだけではなく、まずは家族のためという気持ちに変わりました。息子は、父親がサッカー選手だということは全く分かっていないようですが…。

夫婦で役割を明確に決めるのではなく、サポートしあえばお互い幸せになり、それが家族の幸せになるということを日々実感しているの、これからも家族みんなで支え合いながら過ごしていきたいと思っています。



～ジェンダーの視点からちょっと気になる図書紹介～ vol.2



ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた —あなたがあなたらしくいられるための29問

[著者] 佐藤文香・監修
一橋大学社会学部 佐藤文香ゼミ生一同・著
[出版社] 明石書店

デュオよこすかで
貸出を行っています

おすすめポイント!

- ★ジェンダー関係の話題の「超」入門書として最適!
- ★ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成
- ★Q&Aのセット構成で少しずつでも読み進められ、関心があるトピックに特化して読むことも可能!
- ★質問内容が日常の中の素朴な疑問も多く、身近な内容もたくさん!

第2回目としてご紹介するのは、『ジェンダーについて 大学生が真剣に考えてみた —あなたがあなたらしくいられるための29問』(2019年6月出版)です。この本は、ジェンダー研究のゼミに所属する大学生たちが、友人や知人から実際に受けた質問に対して真剣に考察・討議し、回答したQ&A集です。

日頃何気なく思うような様々な質問を、初歩(ホップ)から応用的(ジャンプ)に3段階に分けて内容がステップアップしていくのでわかりやすい構成になっています。

内容は、ジェンダー、セクシュアル・マイノリティ、フェミニズムから性暴力に至るまで、幅広い項目が盛り込まれています。この本を通して知識を深めるとともに、ジェンダーについて考えるきっかけになり、自分自身の中で

は当たり前と思込んでいることも何かしらの発見があるはずです。

この本で示されている回答が唯一の正解ではありえず、ジェンダーをめぐるさまざまな問題は日々多様化しています。この本を読んだ後に日常生活で目にするニュースを見ると、今までと違った感じ方ができるかもしれません。

男女共同参画・多様な性を尊重する社会の推進施設「デュオよこすか」をご利用ください

デュオルーム

交流の場、情報収集の場としてご利用ください。

- ★ミーティングスペース
- ★関係資料の閲覧
- ★図書の貸し出し

電話：046-822-0804
開館時間：9時～18時
休館日：年末年始、臨時休館日



女性のための相談室

女性が日頃から抱える悩みに
女性相談員が応えます。

電話：046-828-8177
一般相談：月・水・金曜日 9時～16時
(面談は要予約)
法律相談：原則第3火曜日
(予約制・女性弁護士が対応)



〒238-0041 横須賀市本町2-1 (横須賀市立総合福祉会館5階)

発行・問合せ/横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課 〒238-8550 横須賀市小川町11 電話046-822-8228
mail:we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp HP:http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/index.html

◎この広報紙は10500部発行し、1部あたりの印刷経費は17.65円です。
◎この広報紙は、印刷用の紙へリサイクルできます。

リサイクル適性 (A)

エコライフ ◀ 意識すれば、必ず変わる ▶ 男女共同参画